

議会の役割果たせるよう

決算審査を通じ、 山本町政の総括を

西澤議員は18日、宮本議長と藤堂議会運営委員長に当面する議会運営について要請しました。その一部を紹介します。

要請書では、去る8月11日の議会全員協議会において協議の結果、9月議会の開会は総選挙が終了した後9月13日(火)が望ましい、との方向が確認され、たことを受け、9月議会は平成16年度一般会計及び特別会計の決算を審議する重要な議会と指摘し、加えて山本町政に対し、任期の4年間、さらには在任20年間の評価が充分論議できる配慮を求めています。

西澤議員は、29日に開かれる議会運営委員会で、これらの事項が実現できるよう提起したいと話しています。

9月議会では入札問題や町有地不法占有問題、町民に身近な要求などが論議される見通しです。

みなさんの要望や意見をしっかりと受けとれたいと思っております。

要請事項

- 1、開会初日の議会全員協議会を「議案説明」と位置づけ、本会議における提案説明が終了すれば散会とすること。よほど急ぐ案件でなければ、提案説明直後のいわゆる「即決」は行わないこと。
- 2、決算研究会における一般会計と特別会計の審議を少なくとも2日間設定し、充分なる審議時間が確保できるようにすること。
- 3、各決算について1議案ごとの質議とは別に、決算研究会の後、本会議において「決算概要」に基づく報告を行なったうえで、総括的な質議ができるよう、必要な日程を確保すること。この場合「質問通告制」及び「持ち時間制」とすることが望ましいと考えます。
- 4、一般質問の日程は通告者の多少にかかわらず独自の日程とすること。
- 5、防災無線を活用し町議会中継が早期に実現できるように、実施に向けた準備・検討をしかるべき委員会に付託すること。

町ホームページの議会コーナーで会議録が公開されるようになり、情報公開が一步前進しました。さらに町議会が町民に身近なものとなるよう努力する必要がある、防災無線での中継はそれにふさわしいものと考えます。

農業委員会 新会長に上田敬治郎氏

7月26日に開催された農業委員会で、推薦により、新しい会長に上田敬治郎氏、副会長に小林喜代三氏がそれぞれ選出されました。この日の農業委員会を傍聴した西澤議員は「農業振興策などで委員のみなさんと共同していきたい」と希望を話しました。



甲良民報

2005年8月21日 No292
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士463
Tel.Fax38-4949
▼Eメール info@jcp-nobuaki.com
▼のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

民主党 弱体化し民営化 廃止まで考える

民主党の郵政「改革」案は、郵貯・簡保を縮小・弱体化して民営化、さらには廃止すら考えているものです。全国銀行協会の「本来なら廃止することが望ましい」とい

○四年九月の集会決議)という要請に、忠実に応えています。
民主党のマニフェスト(政権公約)では、現在三百四十兆円ある郵便貯金と簡保保険を適正規模に縮小」と明記。郵貯の預入限度額を現行の一千万円から段階的に半額の五百万円まで引き下げるとしています。このことで、岡田克也代表は「百兆円が民間に流れる」といいます。
ところが、民間金融機関は、貸し出しを減らしているのが実態。たとえ銀行の預金が増えても、その資金で国債を買ったけという事態にもなりかねません。大企業は今、借り入れを返済しており、資金需要は強くなりません。経済同友会の行政改革委員長として郵政民営化を支持している丹羽宇一郎伊藤忠商事会長も「(郵貯・簡保の)資金を民間に流すといっても今となってはありがたくない」「日経」八月十六日付)といっています。
さらに問題がありま

